

婦人勞働資料第二号
昭和二十六年十一月

婦人雇用の現状

勞働省婦人少年局

目次

一、婦人雇用のすうせい	3
二、中學校卒業者の就職状況	5
三、公共職業安定所を通じた一般女子の需求状況	5
四、求人、求職の不均衡な職業とその原因	7
五、婦人が多く従事している職業	10

婦人雇用の現状

一、婦人雇用のすうせい

戦時中、婦人はあらゆる職業に進出し、戦後も引続いて戦前とは比較にならない程広い分野に働いてい
ます。そして現在では婦人が従事していない職業は殆どない程になりました。
昭和二十六年八月現在、我國の女子雇用者の数は三六五万人でこれは我國雇用者總数の二六%に当
ています。これと前年同月と比較しますと五%の増加、昭和二十四年の同月と比較しますと五%の増
加となつています。雇用者總数中に占める女子の割合も昭和二十四年八月には二四・九%、二十
五年八月には二五・四%、二十六年八月には二六・四%と年々上昇しています。

このように雇用者が増加したのは、昭和二十四年中から二十五年の上半期にかけて行われた行政整理
や企業整備による雇用の減少傾向が昭和二十五年六月の朝鮮動乱勃発以後増加の傾向に転じ、一部産業
が回復してきたことと表示しています。

改正毎月勤労統計調査によ
つて昭和二十五年一月を基準
とした女子雇用の動きをみま
すと第二表及び第一図の通り
で、昭和二十五年中に比べて
二十六年は各月ともかなり上
廻つています。

第二表 産業別、男女別雇用者数
(昭和26年八月)
(単位千人)

総理府統計局調査

産 業 別	男	女	総数に 対する 割合
總 数	4,190	3,650	26%
農 林 業	350	130	2.7
漁業、水産養殖業	210	10	5
鉱 業	430	50	1.0
建 設 業	890	120	1.2
製 造 業	3,240	1,640	3.2
卸売、小売ならびに 金融、保険、不動産業	1,420	650	3.1
運輸通信およびその 他の公営事業	1,630	200	1.1
サ ー ビ ス 業	1,030	750	4.2
公 務	950	150	1.7
分類不能の産業	0	0	—

第3表
公共職業安定所を通じた中学校卒業者の求職状況
〔昭和25年度〕
(昭和26年9月13日現在)

項 目	計	男	女
求職申込件数	310,758	144,379	166,379
求 人 数	274,632	117,766	156,866
就 職 件 数	201,326	83,368	117,958

労働省職業安定局調

三、公共職業安定所を通じた一般女子の求職状況

以上のように中学校の新規卒業者の就職は比較的容易ですが、一般女子の就職戦線は生やさしいものではなく、殊に特殊技能を持たない中年の婦人の就職はなかく困難な状態にあります。

二、中学卒業者の就職状況

近年中学校の卒業者は、女子でも上級学校へ進学するもの以外、大部分が就職を希望しています。昭和二十六年三月中学校を卒業した女子についてみると、卒業生数は八四、九四八人でその中四五八％は上級学校へ進学し、四一％が就職し、この外の無業、不詳、死亡などは僅か一三％にすぎません。これは男子中学校卒業生八七二四一三人中、進学四六七％、就職四六、四％、その他六九％に比べて大差ない状態です。これら中学校の新規卒業生は比較的就職し易く求人も相当あります。昭和二十六年三月の女子卒業生について公共職業安定所を通じた求職求職、就職の関係をみると、第三表の通りやその求職申込件数は一六万六千、求人数は一五万七千、就職件数は一十一万八千で、求職申込数の七〇％以上が就職しています。そして、これら安定所を通して就職したものの中、六五％までが紡績、製糸、織布を含む紡織業と、衣服及び身体用品製造業に吸収されています。

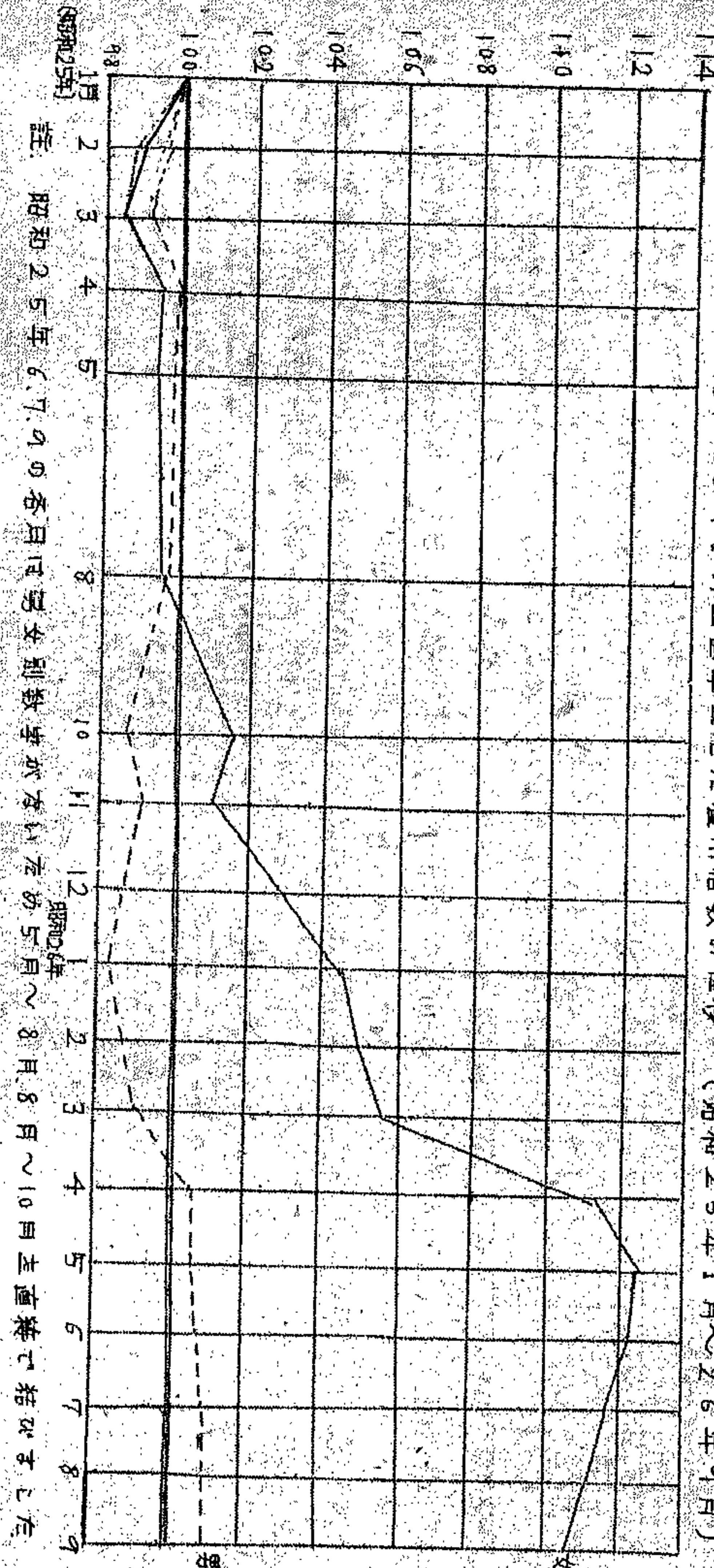
次に昭和二十六年三月中学校を卒業して就職した女子全体について見ますと、第二図の通り、製業に就職したものが五〇、四％で半数を占め、次いで製造業が約三〇、％を占めています。

第2表 男女別、月別、雇用指数 (昭和25年1月=100)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
男	100.0	99.0	98.6	99.5	99.3	99.6	101.5	100.9	100.2	100.5	100.7	100.5
女	100.0	99.5	99.4	100.0	99.9	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9

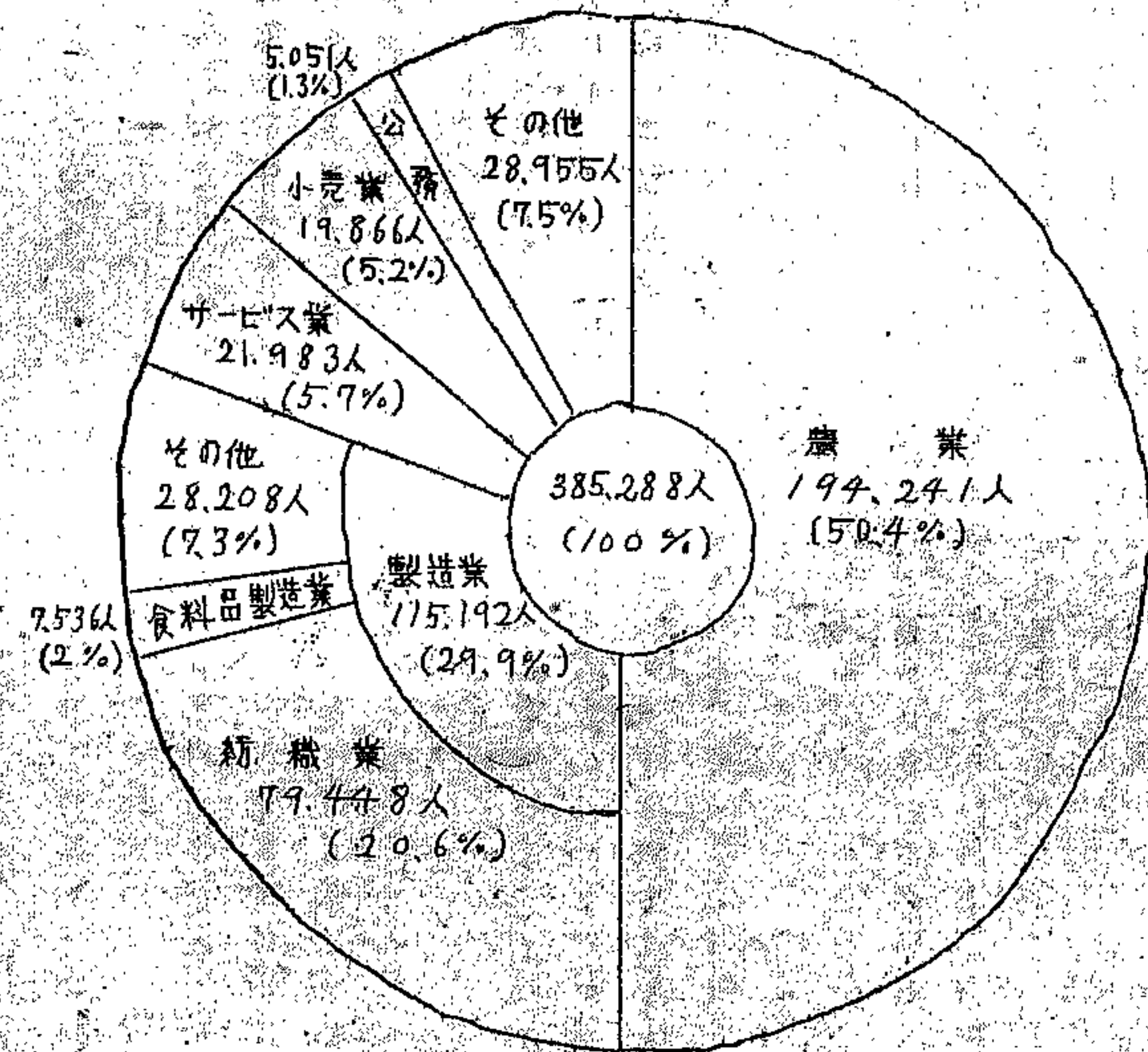
注 1. この指数は毎月1日の雇用指数の月平均値を100とし、その変動を示すものである。
2. 昭和25年6月7日の雇用指数は男別、女別の各月別雇用指数の平均値である。

第1図 昭和25年1月を基準とした雇用指数の推移 (昭和25年1月～26年9月)



第2回

女子中学校卒業生産業別就職状況 (昭和25年度)



地方自治職業安定局の調べによつて一般女子の求人・求職・就職の内係を見ますと、昭和二十六年上半期(一月—六月)に全国の公共職業安定所で取扱つた女子の新規求職申込件数は七十八万で、新規求人数(四五万)の二倍、就職件数(三五万)の二倍に当つています。一般に特殊技能をもつてゐる人達は就職し易く、同調査によつても、技能的・半技能的職業には新規求職申込件数が就職件数の約一・三倍ですが、事務員や店員などのような事務的職業的職業では、新規求職申込件数は就職件数の約三倍になつてゐます。

更に公共職業安定所を通じて就職した婦人はどのような産業に吸収されたかを見ますと、製造業は二〇万八千(六・%)で最も多く、次いでサービス業は五万二千(一・四%)、卸売及び小売業は三万三千(九%)の順となつてゐます。更に製造業中ではやはり繊維業が一番多く、一・一万二千で、製造業中五三%を占めてゐます。

四、求人・求職の不均衡な職業とその原因

(昭和二十六年八月末現在)

最近婦人少年局で、全国七大都市府県(東京・神奈川・愛知・大阪・京都・兵庫・福岡)の公共職業安定所に問合せたところによりますと、求職が求人より上廻つてゐるために就職が困難なもの、或は求人が多いにもかゝらず、雇う側と雇われる側の希望条件がうまく合わないために求職者が少い、左に就職が困難であつたりするものなど、種々の原因で求人・求職・就職の関係が不均衡になつてゐる職業が少くありません。次に右の調査に基づいてその状況をみましよう。

一、求職が多く求人が少い職業

1. 一般事務員

仕事が軽易でとりつき易いため、特殊技能をもたない就職希望者が殺到する。求人も相当あるが求職数は追つかない。そのため求職者が求人の一〇倍前後になつてゐる地方が多い。簿記・珠算などに堪能な経理事務熟練者の求人は比較的多く就職率もよい。

雇用条件は月四。〇〇円—五。〇〇円 年令一八才—二二三才、事務経験一年—三年、時に能筆客交遊要などの条件がある。

2. 給役婦

中年の特技を持たない婦人の求職が圧倒的に多いが、求人がこれに伴わない、子供をもつ未成人や主婦の求職も相当あるが、求人側は家事の負担の重い家庭の主婦を避ける傾向があるので就職は容易でない。然し東京の中心地のように体面上求職者が少く、求人が求職を上廻つてゐるところもある。

雇用条件は一日一五。〇円前後、又は月三。〇〇円—四。〇〇円、東京の中心地では五。〇〇円—八。〇〇円のところもある。

3. 洋裁師・ミシン工

少しでもこの心得のあるものは皆この職を希望するが、求人側は経験のある熟練者を求めたいところが多く、或は見習として住込の条件とすることもある。最近ますます求職者がふえる傾向にあり、求人、殊に未熟練者の求人はそれに比例してふえていない。雇用条件は見習で月二〇〇〇円―四〇〇〇円前後、又は出来高換、住込の場合もある。

4. 販売店員

一般に店員は年令の若いこと、容姿端麗なことを条件とすることが多く、又住込を条件とする場合もかなりあるが、住込の希望者は少い。雇用条件は住込二〇〇〇円―二五〇〇円位、通勤三〇〇―五〇〇円位である。デパート店員の雇用条件は月四〇〇〇円―七〇〇〇円位で比較的よいが、採用の際の条件が厳しく就職は容易でない。東京某一流デパートの採用条件は次の通りである。

一、本年度新制高校生

二、身長一五メートル以上

三、容姿端麗（めがねをかけない事など）

五、邦文タイピスト

求人側は熟練者を望むのに対し、求職者は未熟練者が多い。雇用条件は月四〇〇〇円―六〇〇〇円。以上のように特殊技能を必要としないところや、きやすい職業や、軽易な技術によつて比較的収入の多い職業などは求職が非常に多く、求人がこれに伴わないため、就職がなかく、困難な状態にあります。何らかの特殊技能をもつこと、その技能に熟達することがよい職業を得る要件です。

二、求人が多く求職の少ない職業

1. 家事使用人

求人側は住込であること、年令の若いこと、身元の確実なことを条件とする場合が多い。住込の家事使用人は労務基準法の適用がないため、労務時間が比較的長く、身分的拘束が多く、その割に低賃金

であるというように労務条件が他の職業に比べて劣悪になり勝ちなので、最近これに対する若い婦人の求職が非常に少い。雇用条件は住込一五〇〇円―二〇〇〇円。

2. 個人病院の看護婦

住込を条件とすることが多いため、求職者は家事使用人と同様に取扱われることを嫌い、労務条件が明確で身分的拘束のない大病院を希望するものが多い。雇用条件は四〇〇〇円―六〇〇〇円。見習一五〇〇円―三〇〇〇円。

3. 私設電話交換取扱者

夜間勤務のある場合は求職者が少い。一般に資格認定書をもっている求職者が少いことと、待っているてもそれが一定地域のみしか通用しないうために無資格となる場合も多いので、求人が求職を上廻っているところが多い。雇用条件は五〇〇〇円―六〇〇〇円。

4. バス車掌

求人は相当あるが労務が過激なことから体面上の考慮などから求職は比較的少い。雇用条件は月五〇〇〇円―六〇〇〇円。

5. 小工場の工員

小工場では家事使用人と同様に取扱われることがあること、比較的に低賃金で、給料遅滞の不安があること、何らの保障制度のないことなどのために最近若い婦人で小工場の工員を希望するものが少く、一般に工賃希望者は大企業に集中する傾向がある。中年婦人の求職は割合多いが、求人側が若い見習工を求める場合、求人が求職を上廻ることがすくなくない。雇用条件は一日一二〇円―二〇〇円位、月三〇〇〇円―四〇〇〇円位。

然し工場によつては請負制度で相当の収入のあるところもあり、このようなところは移動が少く、従つて求人も少い。

第4表

婦人が多く働いている職業

	女	男	調査年月	調査機関
教員(総数)	249,722	458,124	昭和26年4月	大 部 省
小 学 校	151,813	163,403	全	全
中 学 校	45,430	146,185	全	全
国 家 公 務 員	218,858	673,302	昭和24年9月	人 事 院
紡 績 工	134,168	21,509	昭和26年5月	日 本 紡 績 協 会
看護婦	125,676	739	昭和24年12月	厚 生 省
電話公換取扱者	84,900		昭和26年8月 推定	電 通 省
助 産 婦	74,034		昭和24年12月	厚 生 省
美 容 師	43,040	688	全	全
繰 糸 工	34,944		昭和26年6月	林 野 庁 蚕 糸 局
理 髪 師	34,300	71,661	昭和24年12月	厚 生 省
百貨店従業員	23,546	16,471	昭和26年7月	日 本 デ パ ー ト 協 会
保 険 婦	23,441		昭和24年12月	厚 生 省
染 料 師	13,232	32,613	全	全
医 師	5,905	67,290	全	全
栄養士	4,153	670	全	全
歯 科 医 師	2,647	25,469	全	全
婦人警察官	667		昭和26年7月	国 警 本 部

6. 外交員(販売・金融・保険勤務・集金など)

固定給がなく、歩合給のものが多いため、生活の不安定をおそれ、求職者が少ない。以上の通り一般に往來を条件とする職業は求職が少く、求職が止まらなっています。理髪師や美容師の往來見習、個人商店の往來店員などもその例で、家事使用人と同様、私用に使われることも多く、労働時間その他の労働条件も大企業に比べて不利になりがちなため、規模の小さいところや往來の職業への求職は次第に減り、大企業への求職がふえる傾向にあります。

五 婦人が多く従事している職業

今度の大戰でけいさとして婦人はあらゆる職業に進出し、現在では婦人が従事していない職業は殆どなくなりましなが、昭和五年頃には女子が一人も従事していない職業として、鍛冶工、鑄造、大工等の力仕事をはじめ、辯護士、調理士、計理士などの専門的職業をふくめて約五、種もありました。このように婦人は今日あらゆる職業についています。その中でも婦人が多く従事している職業はあげてみますと、会社などの一般事務員、タイピスト、電話交換取扱者、公務員などのような書記的な職業や、教員、店員などをはじめ、いわゆる婦人の職業としてされている看護婦、助産婦、美容師、家事使用人、紡績工、製糸工、織布工、編物工等があります。この外にも医師、歯科医師、薬剤師、辯護士、調理師などのような専門的職業や、電気や土木の技術者、機械熟練工、製図工などのような技術者も年々ふえてきています。

これらの職業に婦人が何人ぐらい働いているかと云うことはつりては現在完備した統計がないため明らかではありませんが、わかっているものだけについて見ますと第四表の通りです。

